

「The 2nd NanoLSI Symposium in London – Towards Establishment of New Research Field: Nanoprobe Life Science -」を開催

2018年11月19日

11月19日（月）に、The Cumberland Hotel（ロンドン）において、Imperial College London との連携を強化し、世界トップレベルのイギリス及び欧州近郊の研究者との新たな協力関係を構築することを目的としてナノ生命科学研究所（NanoLSI）が主催、がん進展制御研究所が共催して、ナノ生命科学研究所（NanoLSI）第2回国際シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、WPI 拠点初となる海外シンポジウムとして開催され、イギリスをはじめとする海外の研究者を含む53名が参加しました。

冒頭、WPI-NanoLSI の事務部門長補佐である福森義宏金沢大学副学長から NanoLSI の設立経緯や拠点構想および今回のシンポジウム開催の目的が述べられ、引き続き福間剛士所長による挨拶が行われました。シンポジウムは4セッションに分けられ、NanoLSI 研究者に加えて、世界的に著名な招待講演者による講演が行われました。いずれのセッションでも活発な質疑応答や意見交換が行われ、新たな知識と刺激を受ける貴重な時間となりました。また、会場では NanoLSI 研究者のポスターが展示され、参加者達がティーブレイクやランチブレイクを利用して見て回り、各研究者の研究内容について知識を深めていました。

WPI 拠点初の海外シンポジウムとなるロンドンでの開催によって、NanoLSI 4 研究分野（ナノ計測学、生命科学、超分子化学、数理計算科学）の強みを紹介すると共に、イギリスの研究者達との交流を深めたことにより、実質的な共同研究につながる大変有意義な機会となりました。

